



Lions Clubs International District 336-B

THE LION TIMES

2012-2013

Vol.04



玉島大橋（源平大橋）

!! 感謝 !!

ライオンズクラブ国際協会336-B地区ガバナー 渡部 雅文

若鮎おどる季節、皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。ガバナーとしての任期も残すところ僅かとなり、こうしてご挨拶が出来ることに心より感謝申し上げます。また、4月14日に開催いたしました第59回地区年次大会には大勢の皆様のご参加を賜わり誠にありがとうございました。

この1年の間には何かと至らぬ点多かったと思いますし、皆様のご協力無しにはこの大役をまっとう出来るとは思えません。今、改めて皆様に御礼を申し上げたいと思います。

ウエイン・A・マデン国際会長はテーマとして『奉仕の世界』を掲げ、それを行うには、しっかりと会員増強をし、チームワークをもって、“We Serve”と語っています。

私も、各クラブの会長さんに6月末にて会員純増1クラブ1名をお願いして7月より12月まで6ヶ月をかけ96クラブを公式訪問いたしました。また、地域を巻きこんだ奉仕活動もお願いしてまいりました。この地区誌が皆さんのお手元に届くころ丁度6月病で、退会者が出てくる時期かと思いきや、そこで各クラブにおかれましてはリテンションに取り組んでいただきたいと思っています。

一方では、エクステンション、支部の編成をGMT・GLT委員会をお願いしたところ、エクステンションは残念ながら叶いませんでしたが、岡山後楽LCさんには、レオクラブの結成をしていただきました、学生さんの若き奉仕力が花開くのを楽しみにしております。有難うございました。

支部の編成はGMT、GLT両委員会、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンのご理解をいただき、積極的に各クラブに働きかけをいただき複数の支部が立ち上がりました。二世、または会社の継承者、LLを支部会員として迎えて、大変若い会員が増えました。若い力が結集すれば、今後の地区発展の新たな礎となることと信じております。井上ガバナーエレクトも15クラブ支部の結成を目標とされています。どうか、この流れを変えず推し進めていただきたいと思っています。

終わりにになりましたが、336-B地区の更なる発展と会員各位のご健勝と、ご多幸を祈念いたしましてご挨拶といたします。

We Serve



336-B地区キャビネット幹事 荻原 晃

渡部ガバナーのもと、たよりない幹事でしたが、皆様のご協力により一年間を過ごすことができました。

中でも、ガバナーの全クラブ公式訪問に同行できたことは特筆すべきことでした。それぞれクラブは個性があり、和気藹々と楽しい例会から規律を重んじる例会までいろいろあるんだなと大変勉強になりました。そして、多くの新会員入会・クラブ支部結成等、会員増強にご協力いただきました。

また、第59回地区年次大会には、1,404名という多くの参加登録をいただき、お天気もよく、4リジョン13クラブの皆様のご協力を得て、素晴らしい大会ができたことです。

これからもライオンズクラブの一員として無理をせず、できることを精一杯がんばっていきたいと思います。

大変ありがとうございました。



336-B地区キャビネット会計 伊澤 新一

この度、無事一年の任期を終え、こうして退任の挨拶が出来ることに感謝しています。とは申しませんが一年の間には何かと至らぬ点多かったと思いますし、皆様のご協力無しにはこの大役をまっとう出来たとは思えません。今、改めて皆様に御礼を申し上げたいと思います。

最後に新年度の皆様のご活躍を祈念しまして退任の挨拶と換えさせていただきます。

336-B地区第59回地区年次大会に 多数の登録とご参加に感謝

大会実行委員長 滝沢 昭彦



渡部ガバナー挨拶

本年度の地区年次大会は渡部雅文ガバナーの下、玉島文化センターを主会場にして好天にも恵まれて、2013年4月14日（日）に岡山県知事、倉敷市長をはじめ御来賓の皆様、ライオンズ関係では名越元国際理事、岡村336-D地区ガバナー、336-B地区唯一の海外提携地区台湾高雄300-E1より邱ガバナーと御一行の皆様をお迎えし、そして1,404名と多くの地区会員の皆様に御出席を頂き、本大会を盛り上げて下さいましたことは、ホストクラブ4R-1Z・2Zの13クラブにとり大きな喜びであり、心より御礼申し上げます。

本大会は、玉島での開催のため会場の規模等で御不便をお掛けすることも気にしながら、ホストクラブの皆さんとおもてなしの心でお迎えし、御納得してお帰り頂ければの思いで準備をして参りました。

大会事務局も年次大会に関する知識も十分に持ち合わせて無いなか、ホストクラブの皆さん、関係者の皆さんに大変な御協力を頂き、開催出来ました事に厚く御礼申し上げます。

年次大会については、従来より質素にまた代議員だけの大会でよいのではとの意見も有る様に聞いておりますが、第59回大会はこれまでの流れを踏襲し、まずは親睦の場、次へのステップの場との思いで開催させて頂きました。

振り返って見ますと、皆様に御満足頂けたかとの思いと不行き届きの点も多々有ったかと思いますが、お許し頂ければ幸いです。

終りになりますが、この年次大会に登録下さりまた御出席下さいました皆様に心より御礼申し上げますと共に、益々の御健勝と御多幸と御活躍を、そして全てのクラブの御発展を御祈念申し上げます。

尚、前日の記念ゴルフ、前夜祭にも大変多くの皆様の御参加を得て開催する事が出来、誠に有り難うございました。

○

ゴルフ大会部会 大野 修一
(倉敷南 LC)

地区年次大会記念ゴルフ大会当日は、早朝よりご参加誠に有難う御座いました。皆様のあたたかい御志に大変感謝しております。

渡部ガバナーをはじめ皆様方のお計らいにより有意義な義援金となりましたこと、厚く



義援金をキャビネットへ

御礼申し上げます。

当日は、天候にも恵まれ和気藹藹とプレーをすることが出来ました。また、当倉敷南クラブメンバーの早朝よりの案内役の笑顔が素晴らしいとの声も戴きました。本年度の倉敷南ライオンズクラブは、一致団結、友愛、規律の遵守を柱として運営してまいりました。今回年次大会のゴルフ大会担当の役を仰せつかり、メンバー全員がそれに向かって、お役を推進出来たこと、担当のクラブ会長として大変感謝を致しております。

年次大会本部の方々並びに関係者の皆様方大変お世話になりました。ありがとうございました。

式典部会 小林 健二(倉敷西 LC)

第59回地区年次大会の式典を晴天のもと、玉島文化センターと昨年できたばかりの玉島市民交流センターにて参加登録数1,404名と多くの参加を賜り、盛大に開催する事ができました。玉島文化センターの収容人数が1,000



水島源平太鼓による前夜祭のオープニング



300-E1地区からのお客様をお迎えし、盛り上がった前夜祭

人ということで、市民交流センターも並行して使用する設営となりました。

大会式典を成功させる為に、前日からひな壇の配置や客席の席割り、プレゼンターの確保やライオンズクラブ旗の配置の確認等を行い、多くのメンバーでリハーサルを行い、落ち度の無いように万全の準備を期しました。



地元商店も出店した売店

当日の式典のオープニングに後藤田恵子先生を初めによるオリジナル創作ミュージカル「湊桜」の上演で盛り上げて頂き大変好評でした。

式典には伊原木岡山県知事や伊東倉敷市長を初め、多くの来賓の方々にもご臨席を賜り盛大に開催することができました。本式典の設営を委託したジャパンミュージックの方々にも大変お世話になりました。

有意義な年次大会が執り行えた事を関係各位に感謝申し上げます。

最後になりますが会員の皆様、特に山本達也年次大会担当キャビネット副幹事には式典の全体にわたり気遣いをして頂き、ありがとうございました。



大会キーは次期ガバナーへ



式典部会 山本 達也(倉敷西 LC)

年次大会担当キャビネット副幹事として、

最大の任務を無事完了することが出来て本当にホッとしている所です。想像以上に大変だったというのが正直な感想ですが、1,404名も人が集まる大会をプロデュースするというめったに経験することが出来ない貴重な機会を与えて頂き、大変やりがいや達成感がありました。私は、どんな仕事でも引き受けた以上は、①ベストを尽くして期待以上の成果を出すよう努力する、②どうせやるなら楽しんでやる、というのを信条としておりますが、今回も大変ではありましたが結構楽しくやらせて頂きましたし、やれることは全てやったつもりですので後悔する事はありません。何分初めての経験なので、色々不行き届きな点は多々有ったかとは思いますが、幸いあまり悪い評価は耳に入ってきていませんので、まあまあ成功だったと言えるのではないのでしょうか。

年次大会の準備が本格的に動き始めたのは昨年の初め位からですが、当初から渡部ガバ



満席の式典



特設のお茶席には長蛇の列が

ナーより以下の3つの指示がありました。

- ①地元玉島の地で開催する
- ②メンバー全員から毎月年次大会費を頂戴している以上、登録制限は行わない。
- ③昼食までに全ての行事を終了させる。

インフラの整っていない田舎町で本当に①と②が両立できるのか当初から不安視されていましたが、幸いなことに1,000名収容の玉島文化センターの隣に、300名収容のホールを持つ玉島市民交流センターがオープンしたので、後者をサブ会場に使用して式典を同時中継するという離れ業を使えば何とかなるだろうという構想の元に計画を進めました。

ガバナーも96クラブ全クラブ公式訪問の度に、また我々キャビネット役員も機会ある度に大会のPRに努め、登録制限は行わないのでどんどん参加してくださいと宣伝に務めた

結果、大会登録1,404名、ゴルフ大会登録161名（予定150名）、前夜祭登録139名（予定130名）という予想を上回るご登録を頂いたのは誠にありがたいことでした。反面、こんな田舎町でちゃんとご満足いただけるおもてなしが出来るのか、当日大きな混乱は無いのか、昼食は、駐車場は……等々、課題や不安やプレッシャーも膨らんでいきましたが、多くの皆様の絶大なご支援や、経験豊かなイベント会社（ジャパンミュージック）のスタッフに助けを頂き、また当日は絶好のお天気という神様の味方もあって、大きな混乱や失敗も無く無事大会を終えることが出来、本当に感謝しております。

いくら経験豊かなイベント会社が付いていても、我々事務局だけではどういこのような大きな大会を運営することは出来ませんが、各部会を担当していただいた4R-1Z、2Zのホストクラブ13クラブの皆様には特に多大なるご支援を頂きました。計画から当日の運営・進行までクラブの総力を挙げて取り組んで頂いたゴルフ部会、前夜祭部会の皆様、会場周辺の駐車場確保に奔走し、当日は朝早くから駐車場整理や案内に汗を流して頂いた駐車場部会の皆様、2回の試食会を経てお弁当業者と共に改良を重ね、彩り鮮やかで美味しいお弁当を準備し、当日は大会式典にも参加せずにお弁当の配布作業やゴミ回収にご尽力いただいた昼食部会の皆様、前々日の袋詰め作業や前日の会場設営作業、当日の受付、来賓接待、委員会や投票、代議員総会のために大勢のメンバーを動員していただいた各部会の皆様……。こうした



平和ポスターコンクールの表彰

ホストクラブの皆様の協力無しには、到底大会の成功は望めませんでした。重ねて深く感謝申し上げますと共に、いざという時には一致団結して協力するライオンズクラブ精神を見せ付けられた思いが致します。

また今回は、第55回大会（津山）以来4年ぶりに姉妹地区の300-E 1（台湾高雄）のメンバーが参加されるので、失礼の無いようなおもてなしをしなければいけないという頭の痛い問題も有りましたが、1週間前になってやっと参加メンバーやスケジュールが確定するという悪条件の中、河合委員長以下YCE・国際協調委員会の皆様には多大なご協力を頂きました。空港へのお出迎えから大会翌日の高松観光まで、朝から深夜まで台湾メンバーのおもてなしに奔走する委員長や委員の方々の姿を見て、邱ガバナー始め台湾メンバーの方々にも、こちらの熱意と歓迎の心を充分感じて頂けたものと確信しております。本当にお疲れ様でございました。

この他にも、渡部ガバナー夫人を始めとして、会場入口で来場者のお出迎えに華を添えていただいた倉敷西LC奥様部隊の皆様、大変好評だったお抹茶接待ブースを一手に引き



晴天のもと、芝の上の昼食会場

受けて采配を振るって頂いた総社LCの福島登さん、前夜祭や大会式典の通訳としてご協力頂いた岡山後楽LCの劉 渤江さん、大会式典のアシスタントとして司会の私のサポートをして頂いたRSKアナウンサーの植崎房江さん、アトラクションで大会に華を添えて頂いた市民ミュージカルや双子デュオ「まゆみゆ」の皆さん、そして事務局専従の事務員として、11月から4月まで膨大な事務処理作業をサポートしていただいた岡田さん。こうした多くの人達に助けて頂きました。

これら裏方として大会を支えてくださった多くの皆様、そして多数のご参加を頂き大会を盛り上げてくださった336-B地区全ての会員の皆様に、重ねて心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。



次期開催地の発表

広島で第59回336複合地区 年次大会開催

336-B地区 広報委員長 藤澤勝彦(倉敷西LC)

次年度第60回の記念すべき複合地区年次大会が336-B地区となり倉敷の地で開くことが決まりました。しかも次期ガバナー協議会議長に当倉敷西ライオンズクラブ出の渡部雅文ガバナーということもあり下見を兼ねフルコースに参加して来ました。

1. 記念ゴルフ大会 賀茂カントリークラブ
(他・鷹の巣・千代田コース・各25組)
2. 前夜祭
(ANAクラウンプラザホテル広島)
3. 慰霊碑参拝
(広島平和公園原爆死没者慰霊碑)
4. 代議員分科会
(広島国際会議場・ひまわり・ダリヤ・コスモス 3ホール)
5. 代議員総会
(広島国際会議場フェニックスホール)
6. 大会式典
(広島国際会議場フェニックスホール)
7. 昼食・アトラクション

25回

記念ゴルフは3コース各100名計300名。私たちは賀茂カントリークラブにエントリー。受付は広島平和LCのメンバーの方でした。担当は第6部会で3つのゴルフ場に分散して受け付けているとのこと。天気もよく若葉・青葉の中で楽しくプレーすることが出来ました。次は前夜祭です。広島市副市長をはじめ国際理事、元国際理事、(中国・四国)複合の役員、地区役員、各クラブ代表代議員等、世話係等を入れると520名に近い参加者で大変な賑わいでした。



26回

7時30分

国際理事、元国際理事、ガバナー協議会議長、現地区ガバナー等の役員を先頭に地元16クラブのクラブ旗の中を通り慰霊碑に献花参拝。



8時35分

国際会議場で代議員分科会（3分科会）



9時30分

代議員総会。各分科会から出た議案の審議、分科会報告。

10時45分

大会式典。一般来賓は広島県知事、広島市長、広島商工会議所副会頭が出席。ライオンズ関係では国際理事・元国際理事、現・元ガバナー協議会議長、現・元ガバナー、各地区役員、クラブ代表代議員、一般会員参加者等2100名のメンバーが集う大イベントでありました。年次大会委員長の歓迎の挨拶、大会議長挨拶、一般来賓の祝辞の後、武久国際理事のオフィシャルスピーチがありました。次期協議会構成員、第1第2副地区ガバナーが入場、渡部雅文次期協議会議長がスポットライトあびて入場、次期開催地倉敷の紹介、最後にホストクラブの玉島LC、水島LC、倉敷南LC、倉敷西LC、水島中央LCのメンバーにより横断幕「おいでんせええ、ぼっけええ町倉敷でWe Serve!」を掲げて壇上に上がり、次年度畑野複合年次大会委員長の参加要請の挨拶があり終了。さすが中国四国を代表する大都市に相応しい式典で、大会準備には昨年9月の第1回準備委員会以降、毎月開催して万全の準備をしたそうです。また今大会ホストクラブの336-C地区5R-1Z 6クラブメンバーは6つの部会に所属し広島平和LCを中心に全員参加でお手伝いをされたそうです。次回倉敷大会も倉敷に相応しい大会が出来ればと祈念し、この稿を終わります。



委員会報告

YCE ファイナルミッション!! 願いを込めて

336-B 地区 YCE・国際関係委員長 河合 俊 道

「YCE事業で感じた素朴な疑問」

YCE事業に携わって3年が経過しました。いま思い返せばアツという間の3年間、しかしそれは短くもありそしてまた、長い道程でもありました。

そんな浅い私の経験の中で、非常に単純な疑問を抱いたことがあります。

それは「国際協会」と冠が付くライオンズクラブの諸活動の中でも、「小さな親善大使を派遣し、そして迎えての交流を通して、国際平和に貢献する」と言った、誠に崇高な理念に基づいた、数少ないそして他に範となるべき国際的な事業であって、尚且つライオンズクラブにとって最も相応しいアクティビティーにも関わらず、本当に積極的に取り組むクラブは、我がB地区96クラブ中で観ても、年間15クラブにも満たないという悲しい現実。

YCE事業への取り組みが、億劫になる理由も様々あることは理解していますが、それにしても余りにも少な過ぎる感がしました。

「YCEはめんどくさい」「予算が無い」こんな一言で、地域青少年に提供できるであろう様々なチャンス閉ざし、大きく羽ばたこうとする躍進の芽を摘んでしまう…。

果してこの姿が『グッドスタンディング』と言えるのでしょうかと。

「YCE活動、これからのあるべき姿と提言」

日頃、派遣も受け入れも地元ケーブルテレビ等を活用しての、「一般公募」を提唱してきました。これは複数の効果を期しての提言です。

1. 会員の高齢化が進んだことによる、クラブ内での派遣・受け入れが困難となったことの解消。
2. メディアを通して公募することにより、ライオンズクラブの広報活動となる。
3. 一般市民の関心を喚起し理解を得ることにより、新会員確保の手段に活用できる。
4. 多くの子供たちを派遣することにより、次代を担う青少年及び地域のグローバル感覚化の推進に寄与する。
5. 新会員の皆様に、YCE活動を通じて、国際的ライオンズクラブのメンバーの一員であることの誇りと、自覚を促す。

等々。

YE派遣生も受け入れ家庭も、是非とも一般公募で取組んで頂きたいと、強く提言致します。



《YCE未来思考!! 理想のスポンサーはキャビネット》

YCE活動への取り組みが億劫になる理由の一つに、資金不足があります。

特に昨今の急激な会員減少から、予算の確保が難しく「派遣したくても受け入れたくても、予算が無い」との声が多く耳にしました。

いくら崇高な理念を抱き説いても、クラブに資金が無くては取り組みません。

しかも、会員減少に歯止めが掛からない限り、今後も益々この傾向に拍車が掛かることは容易に予想されます。

現在のYCE交流事業が、一方的に押し付けられた「クラブスポンサー」で成り立っている以上、今後の発展に期待することは、非常に困難と言わざるをえません。

現在の取り組みを根本的に見直さない限り、YCE活動は益々衰退化を免れないでしょう。「予算が無いから取り組みない」の起因を取り除く、抜本的対策は無いのでしょうか。

「究極の対策は…」

これからのYCE活動が今後益々発展する為には、地区単位で取組む「YCE活動支援基金制度」の確立が、必要不可欠と考えます。これは、地区会員一人当たり年間千円程度の負担金（YCE活動支援資金）を拠出し、基金としてプール。毎年積立てながら、派遣・受入れに取組むクラブに対し「YCE活動支援基金」から必要規定額を拠出する。

こうして派遣・引受けクラブの金銭的負担を軽減することにより、会員少数クラブであろうと多数クラブであろうとも、活動資金の心配も特別な負担も殆ど無く、クラブ間の平等を保ち、安心してYCE活動に取り組む基礎体制が確立することでしょう。

またそのことにより、メンバー一人ひとりが活動資金拠出者となれば、YCE活動に対する関心と意欲は、より一層深まることと思われれます。

今後の発展のキーワードとして、『一般公募』『YCE活動支援基金制度』を提言します。

終わりに、

YCEに携わらせて頂いたこの間、素朴な疑問を抱きながらも、何の対策も講じることが出来なかった非力をお詫びしますとともに、ご協力を戴きました関係各位に心から感謝とお礼を申し上げ、あわせてYCE活動の今後益々の発展を、心からお祈り申し上げます。

夏期キャンプ



委員会報告

青少年健全育成委員会の今年度の活動と来年に向けて

青少年健全育成委員長 佐藤 慎司

青少年健全育成委員会の今年度の活動としましては、「ライオンズクエストセミナー」「薬物乱用防止活動」「国際平和ポスターコンテスト」の3本柱を中心に行ってまいりました。

まず、ライオンズクエストセミナーに関しましてはこの5月18日にも開催され、110名を超えるご参加を頂く事となり、改めて活動に対する認識を深めて頂くことが出来てきていると感じており、今後も各クラブには、公募型、校内型問わず多数の開催をお願いしていきたくと考えております。

また、国際平和ポスターコンテストにつきましては、他地区に比べ、まだまだ学校数、作品数共に少ないのが現状であります。青少年の国際平和意識高揚を図るべく、より多くの学校から応募を頂けるよう各クラブには働きかけをお願いしたいと思います。

そして、薬物乱用防止活動につきましても今年度セミナーの開催により認識を深める事が出来ましたが、次年度は当委員会からは外れることとなり、滞りなく申し送りを行い、さらなる活動強化に繋げてまいりたいと思います。なお、当委員会としましてはその分ライオンズクエストセミナー、国際平和ポスターコンテストの活動に一層注力したいと考えておりますので、皆様方のご協力を引き続き宜しくお願い申し上げます。



ガバナー・チームについて

GMT地区コーディネーター・GMT委員長 河本 陸雄

近年、どこのクラブも高齢化を迎え、クラブ運営引いては、組織の硬直化につながっている現象が見うけられる。そこでGMT委員会では地区を挙げて“クラブ再生”に取り組み3年を経過した。“クラブ再生”を行う上で取り上げなければならないのが会員増強と会員維持、そして最も重要なものはクラブメンバーの質の向上である。

“クラブ再生”の対策として

- ①現クラブの補強（会員増強と会員維持そしてステータスの保持）
- ②別の組織による再生（例えば“クラブ支部”からエクステンションへ）
- ③メンバーの意識改革（今何が必要か、何を成すべきか、誰がやるのか等）

今回取り上げた“クラブ再生”は5年～10年と息の長い、そして確実な目標を掲げ、336-B地区の命運をかけてガバナー以下、一致団結して取り組むべき事業である。それにはGMTの委員会

だけでは限界がある。そこで注目されるのが、地区誌3号で私が紹介した新しく出来た組織で「ガバナー・チーム」がある。このチームは336-B地区の5年～10年先を見通した目標設定をして、それを責任を持って実施する役割を担う。具体的には「ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナー・そしてGLTコーディネーター及びGMTコーディネーター」等がメンバーとなり、「ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナー」のせめて三年間の地区運営は、同方向であるよう進言して行く。そのためにも地区コーディネーターの任期は三年になっている。現在は、ガバナーが交替する度に方針も変わっている。故に今後は「ガバナー・チーム」の組織力をいかに発揮して明日の336-B地区の夢を紡ぐべく、地区運営に邁進して頂きたい。

真の意味の336-B地区全員の期待の星として……。

和気ライオンズクラブ認証50周年記念式典

1R4Z 会長 石野敏夫

2013年1月19日（土）和気町総合福祉センター

記念式典・記念事業

和気ライオンズクラブは、和気町総合福祉センターにおいて認証50周年記念式典を開催致しました。設立から半世紀という記念すべき節目にあたって「ちさくともキラリと光るウィサーブ」というスローガンを掲げ、「ただ形式的な式典を行うばかりのものにしたい」「地域の方々に喜んでもらうことで、この節目を彩りたい」という思いのもと、会長をはじめ会員みなで、この周年事業に取り組みました。

来賓やスポンサークラブの岡山ライオンズクラブ、姉妹クラブの宇佐ライオンズクラブ、そしてゾーン内の4クラブを含め約100名の皆様のご臨席を賜り、来賓の祝辞や記念事業の国際平和ポスターコンテストの入選者の表彰式や和気中学校にクラブ活動用のアルミベンチの贈呈など厳粛なうちに式典を終えました。

その後、引き続いて式典に並行して和気ドームでサッカー教室（和気町と共催）を行っていた『湯郷ベル』の選手の内、福元・宮間両選手による「トークショー」を開催しました。トークショーの観衆は350名を超え、会場はほぼ満員。福元選手の湯郷ベルキャプテンとしての自覚や宮間選手の意思の強さを感じとれる素晴らしいトークショーとなりました。式典等の詳細は和気ライオンズクラブのホームページに掲載しておりますので、是非アクセスしてみてください。



石野会長あいさつ



アーサー・ピナード氏講演会



サッカー教室



トークショー

その他の記念事業

- ・国際平和ポスターコンテスト 町立図書館ギャラリーにおいて
2012年10月16日（火）～28日（日）
- ・和気町教育委員会へプロジェクターの寄贈 2012年12月3日（月）
- ・アーサー・ピナード氏記念講演会
「原子炉の国から来た詩人が、ニッポンの出口戦略を語る」
2013年2月10日（日）
- ・LCIF 1000 \$

特集

周年事業

湯原ライオンズクラブ認証35周年記念式典

3R 2Z 会長 三船 昌行

2013年3月10日(日)

記念式典

湯原ライオンズクラブは、岡山県北「ダムと出で湯の町」湯原温泉を中心に活動を行っています。

当日は、春を間近に控え生憎の天候ではありましたが、伊原木隆太岡山県知事の代理で美作県民局長を始め御来賓の方々、そして渡辺雅文 336-B 地区ガ

バナーを始め役員の方々並びに多数のブラザークラブの皆様方の御臨席を賜り且つ姉妹クラブである観音寺中央ライオンズクラブの皆様方には、遠路香川の地よりおいでを頂き、総勢130名による式典は厳粛のうち滞りなく終えることが出来ました。

また祝宴では、地元カラーを全面に出し、太鼓演奏、三味線、ちんどんに依る余興と地元旅館の心のこもった料理で、時間の経つのを忘れるほど和やかな雰囲気のうち閉宴となりました。

35周年を迎えるにあたり、私達31名の会員はこれからも地域の皆様と連携して、将来を担う子どもたちの健全育成や美しい故郷の環境保全などのアクティビティに磨きをかけ、40周年に向けて会員増強を図りながら不断の努力を続ける事を確認致しました。



記念事業

1. やんちゃき広場へ時計台寄贈
2. 久見保育園・二川保育所にクリスマスプレゼント
3. ライオンズクラブ国際財団へ（LCIF）へ1,000ドル寄贈



吉永ライオンズクラブ認証45周年記念式典

1R4Z 会長 北浦 徳和

2013年3月23日(土)

記念式典・祝宴

平成25年3月23日(土) 好天に恵まれた中、吉永ライオンズクラブ認証45周年記念式典を挙行致しました。一般来賓をはじめ、スポンサークラブ、並びにブラザークラブの方々にご臨席を賜り盛大に開催することができました。

記念祝宴では、先輩方の築いてこられた45年間に敬意と感謝をし、これからの活動に話を咲かせたところです。

現在17名の会員ですが「友愛と寛容」の精神を大事に、より身近な奉仕活動に努力しております。これからも輪を広げつつ、地域に密着したクラブ活動を行って参ります。

今後、益々のご指導ご鞭撻を心よりよろしくお願い申し上げます。



記念事業

1. J R 吉永駅前電光掲示板システム更新
2. 商工会へパソコン寄贈
3. 幼小中学校(吉永町内)へ贈呈
 - ①吉永幼稚園 平均台
 - ②神根幼稚園 トランポリン
 - ③吉永小学校 綱引きロープ一式
 - ④神根小学校 デジタルカメラ 電動草刈り機 他
 - ⑤三国小学校 マグネットスクリーン 他
 - ⑥吉永中学校 ブルーレイレコーダー 他
4. L C I F 基金 \$1,000



特集

周年事業

鳥取中央ライオンズクラブ認証50周年記念式典

7R 1Z 会長 橋尾 泰博

2013年4月7日(日) モナーク鳥取

記念式典

鳥取中央ライオンズクラブは、昭和37年9月19日に鳥取ライオンズクラブのスポンサーにより設立し、昭和38年4月21日に認証を受けましてから50周年を迎えました。

去る4月7日(日)、認証50周年記念式典を開催するにあたり、336-B地区渡部ガバナーを始め、スポンサークラブである鳥取ライオンズクラブ、姉妹クラブである釧路ぬさまいライオンズクラブ、ブラザークラブの方々など総勢124名のご臨席を賜り厳粛のうちに50周年を祝うことができました。

祝宴では五穀豊饒・無病息災を願い、国府町の傘踊り、倉吉市の中国獅子舞をご覧いただき、また、竹内 功鳥取市長の提案により、鳥取市は童謡唱歌の街であり参加者全員で「ふるさと」を合唱するなど、和やかな中にもライオンズクラブの連帯感溢れる時間を体感できました。ご参加いただきました全ての方に心より感謝申し上げます。

私達会員一同は、今後も地域社会に根ざした奉仕活動を続けてまいります。皆様の友情とご支援を宜しくお願い申し上げます。



記念事業

- 1 地球環境をテーマに青少年育成のための環境教育の場「鳥取昆虫自然館」の基本計画を提案し、シンポジウムを開催。
- 2 南限自然公園(ビオトープ)が今年5年目を迎え完成したので鳥取市に引き渡す。
- 3 子どもの心身の発育、環境の保全、景観の向上を願い「はだして遊べる公園」として、鳥取方式の芝生化を実施する。



大山ライオンズクラブ結成45周年記念式典

8R 1Z 会長 中嶋 宏 実行委員長 安江 禎晃

2013年4月29日(月)

記念式典

春爛漫の平成 25 年 4 月 29 日、大山ライオンズクラブは結成 45 周年記念例会を開催し、今後の発展を祈念しました。60 名近くの会員を有した当クラブも今や 11 名の弱少クラブとなっているため、「5」の周年であるため、内々の会とし、記念例会としましたが、記念式典・祝宴は恒例の通り実施致しました。来賓には、地元の大山町長 森田 増範氏、336-B 地区ガバナー代理として 8R 選出の第二副地区ガバナー 別所 清平氏、8R-1Z・ZC 川中 修一氏、そしてスポンサークラブ米子錦ライオンズクラブ会長 金田 勝氏、会員 西村 康則氏を迎え、なごやかで温かく、将来の発展を兆す会となったことを大変喜びました。



336-B 地区ガバナー代理挨拶
第二副地区ガバナー 別所 清平氏

《この5年間の活動の特徴》

小学児童を対象とする少年野球大会、中学生対象の中学校野球大会を「大山ライオンズカップ大会」と称し企画する外、各種の大会・研修会の支援、小児糖尿病児童の「サマーキャンプ」(訓練)支援、光徳子供学園餅つき支援(正月前)、特別養護老人ホーム訪問交流会、地域桜並木の草刈等、恒例の継続事業は元より、EM 菌投入の学校プールの浄化活動外、336 - B 地区或は 8R の努力事業も展開しました。

これらの活動展開に私達大山 LC の心情とすることは「活動が地域に定着する」であります。できるだけ地域の人々を巻き込むことを心がけています。特に「EM 菌投入」は初年度はクラブアクトとしていましたが、各学校への定着を願い、EM 菌活用の伝達講習会を開催し、今や学校の自主的活動として定着していることは大変うれしいことです。



皿を止めて皿を手にする
“大山LC 45周年記念”



よく廻るよく廻る大山LCの得意技皿回し
《祝宴アトラクション》



出席者の顔ぶれ

岡山パールライオンズクラブ認証10周年記念式典

1R1Z 会長 一井 公子

2013年6月1日(土) アークホテル岡山

記念式典

パールライオンズクラブは、岡山ライオンズクラブをスポンサーとして、2003年6月に認証を受けて活動を開始し、現在に至ります。

6月1日、アークホテル岡山において、岡山パールライオンズクラブ認証10周年記念例会を開催しました。

午後の例会に先立ち、同日午前には、記念事業の一つとして、NPO法人子どもの村東北飯沼一宇理事長による講演会が同会場にて開催され、多くの皆様のご参加をいただきました。

記念例会では、目録贈呈や記念事業発表を行い、皆様にご祝辞を頂戴した後、ささやかではありますが祝宴を行いました。祝宴のはじめには、中国学園大学・中国短期大学の和太鼓サークル「鼓魂」の皆様が力強い音色を披露していただき、皆様に見守られながら、温かく10周年を祝うことができました。

女性クラブとして10年間、温かな活動をとおり、アクティビティを行ってまいりましたが、同時に、皆様に温かく見守られてきたのだと感じる記念例会となりました。



記念事業

- * 「大震災を超えて 子どもたちの未来のために」講演会開催
- * 「NPO法人子どもの村東北」に100万円贈呈
- * 「公益財団法人岡山県臓器バンク」に50万円贈呈
- * 「特定非営利活動法人さんかくナビ」に30万円贈呈
- * 「ライオンズ国際財団(LCIF)」に1,000ドル献金
- * 「日本赤十字社岡山県支部」にテント一張り贈呈
- * クラブ会員作成点字絵本を「岡山県視覚障がい者友の会」と岡山市立小学校3校に贈呈



アクティビティ・レポート

Activity Report

早島小学校生徒との 小鳥の巣箱作り

5R 1Z 早島LC

会長 浅沼 一徳

10月12・19日(金)、12月14日(金)、2月8日(金)

児童25名、先生2名、ライオンズクラブ5名、協力会員3名

場所 作成：早島小学校

取り付け：早島町城山公園

青少年健全育成を目的として、毎年早島小学校工作部の児童と小鳥の巣箱を作成しております。今年も児童25名が参加して、巣箱を作りました。

LCから材料一式提供し、会員が作り方を説明します。のこぎりや金槌等、日頃使わない児童が多く、最初完成に2日間を考えていましたが、3日間かかり立派な巣箱が出来ました。

2月8日(金)に小学校裏の早島町城山公園に自分で作った巣箱の設置場所を自分たちで決め、会員と協力会員が脚立等で取り付けの手伝いしました。児童たちはひなが誕生する春が待ち遠しいと大変喜び、来年も参加したいとのことでした。



鳥取市立若草学園との 「さつま芋ほり」

7R 1Z 鳥取LC

会長 杉浦 為佐夫

11月2日(木)

学園児童・職員・保護者・会員(総勢70名)

今年度8回目を迎えた「さつま芋農

園」。6月にメンバーで苗の植付けをし、8月に草取り、収穫の時期を迎えた11月2日(木)鳥取こども学園児童・職員・保護者・会員(総勢70名)と一緒にさつま芋掘りをしました。

後日学園にて、「やきいも大会」を開催し、美味しくいただきました。



冬季YCE生受け入れ

5R 2Z 倉敷天領LC

ホストファミリー 佐藤 慎司

12月15日(土)~27日(木)

場所 ホストファミリー

佐藤 慎司 宅

昨年12月15日から27日まで、マレーシアからのYCE生、Ng shu jeitさん(愛称:ミャオミャオ)のホストファミリーとして貴重な体験をさせて頂きました。私自身、ホストファミリーとなるのは初めてであり、言葉も文化も違う中で会話一つにも苦労しましたが、困った時はスマートフォンの翻訳機能などを活用し、何とかコミュニケーションを取ることが出来ました。スケジュールでは、岡山城や倉敷美観地区、吉備津方面への訪問や原爆ドームでの歴史の勉強、また初めてのスキー体験など色々経験してもらおうことが出来ましたが、その中で、私としては日本の伝統文化を体験してもらおうべく餅つきを行うこととしました。勿論ミャオミャオには初めての体験で、杵の振り方も覚えない感じではありましたが、つきたての餅を美味しく食べてもらうことが出来ました。そして、あっという間の2週間弱が終わり帰国となりましたが、別れ際には涙を流してくれ、彼女にとっても良い思い出になったものと嬉しく思いました。餅つきにご参加頂いた皆様にはご協力ありがとうございました。

ぎいました。



第23回「鳥取こども学園との卓球大会」開催

7R 1Z 鳥取LC

会長 杉浦 為佐夫

1月20日(日)

児童、職員、クラブメンバー総勢72名

場所 鳥取こども学園体育館

1月20日(日)鳥取こども学園体育館におきまして、小学生低学年・幼児はボウリング大会、小学生・中学生は男女別、高校生と大人はオープン(ペア)の部に分かれトーナメント方式で卓球大会を開催いたしました。参加者は児童、職員、クラブメンバー総勢72名です。毎年児童はこの大会に向け練習しているそうです。

部門ごとの表彰をし、終了後昼食会にて親睦を図りました。



十五代目片岡仁左衛門 チャリティートークショー

2R 1Z 岡山東LC

会長 中村 安生

1月22日(火)

330名(岡山東LC参加会員30名含む)

場所 山陽新聞社 さん太ホール

今期のアクティビティの基本テーマ

アクティビティ・レポート

Activity Report

は「品格と伝統」。これに基づいた活動として、人気歌舞伎俳優の十五代目片岡仁左衛門丈をお迎えして「チャリティートークショー」を開催。チケットの売上は仁左衛門丈からドネーションとしていただいた心付けとともにスペシャルオリンピック日本・岡山へ寄贈し、障害を持つアスリートたちへの支援に使っていただきます。当日は300席が満席となり、また、仁左衛門丈のお人柄も相まって和やかで楽しい会となりました。トークショーに先立ち、日本舞踊「若柳流」名取で当クラブ会員L山根の「若柳三番叟」を披露、そして、昨年12月から販売中のDVDのダイジェスト版を上映、仁左衛門丈の当たり役を堪能いただきました。続いて、トークは幼少時の岡山での思い出から、片岡家のお正月、盟友の故中村勘三郎丈は心の中でまだ生き続けていると話され、万感胸に迫るものがありました。

後半は、ご来場のお客様から事前に集めた質問に答えていただいたり、抽選で20名の方に仁左衛門丈オリジナル手ぬぐいを握手とともにプレゼント、大いに盛り上がりました。多くの市民の皆様やライオンズクラブの方々にもチケットを購入いただき、地元マスコミ各社をはじめ皆様のご協力が多大な成果をあげることができました。



献血活動

5R 2Z 倉敷阿知LC

会長 山地 泰二

2月2日(土)

150名

場所 ゆめタウン倉敷

2月2日(土)継続事業 献血活動「ゆめタウン倉敷」で行いました。献血車2台と、岡山県立倉敷中央高校のボランティア学生10名、クラブメンバー16名の参加協力で実施しました。女子高校生の献血呼びかけやティッシュ配り等により、採血受付106名にもおよびました。そのうち83名が献血できました。合わせて実施した骨髄バンクドナー登録には、20名の登録ができました。



第30回「私の主張発表会」に記念品贈呈

3R 2Z 真庭旭LC

会長 馬場 寿彦

2月15日(金)

発表生徒18名(観衆者500名)

出席会員 3名

場所 久世エスパホール

真庭地区中学生による弁論大会《第30回私の主張発表会》が開催され、出場生徒18名に記念品を寄贈した。中学生が学校生活を通しての出来事や体験したこと、日頃思っていることや、家庭・地域においてふと気付いたこと、困ったこと・感動したことなどを各々が自分の考えを素直に堂々と発表していた。

経費 26,370円

稼働時間

出席会員3名×3時間=9時間



第25回教育講演会

1R 3Z 岡山グリーンLC

会長 小谷 裕司

2月23日(土)

300名

場所 山陽新聞社 9階会議室

第25回目となりました教育講演会は、2月23日土曜日、山陽新聞社にて、岡山大学教師教育開発センター特認教授の曾田佳代子先生をお招きし、「勉強」から「学び」へという演目でお話を伺いました。今回も300名近い地域や保護者の方々にお集まり頂きました。多様な社会の変化の中、企業において昨今求められる人材とは、読み・書き・ソロバンなどの基礎的な学力だけではなく、更に自ら学び、考え判断、行動でき、よりよく問題を解決する資質や能力、総合力を持ち合わせた人材だということです。その総合力、「学び」の力を高める為には、心と体を鍛える活動体験の機会が非常に影響してくるそうです。地域・学校・家庭・民間団体・企業が一体となり、子供たちの自然体験活動や社会体験活動などの機会を少しでも多く創出し、確かな学力と社会を生き抜く力、豊かな人間性を持った人材育成のお手伝いができるよう、我がクラブも頑張りたいと思いました。



玉島市民交流センターでの合同「献血・推進キャンペーン」の実施(玉島LC・倉敷西LC合同アクト)

4R 2Z 玉島LC

幹事 西田 正孝

2月23日(土)

献血受付者数 219名

採血者数 183名

採血量 73,200ml

ライオンズクラブ参加者

玉島LC30人 倉敷西LC40人

場所 玉島市民交流センター

アクティビティ・レポート

Activity Report

玉島ライオンズクラブ、倉敷西ライオンズクラブは、平成25年2月23日(土)玉島市民交流センターにおいて合同の献血・推進キャンペーンを実施いたしました。

玉島での献血活動は、長年倉敷西ライオンズクラブが2月、7月の血液不足の時期に近くのスーパーマーケットで行ってきましたが、事情によりスーパーマーケットでの献血が出来なくなりました。

献血会場の変更・日曜日から土曜日の実施と、新たなスタートとなりました。赤十字献血センターは倉敷西ライオンズクラブの献血活動に期待しており、献血者確保と玉島市民交流センターには「湊ホール」というイベント会場があり、そのホールの活用も含めて、また地区保健福祉委員長が菊池東さんということもあり、合同での献血推進のキャンペーン話が進みました。

当日は、両クラブメンバーも大勢で参加、受け付け、採血案内、イベント案内などで活躍、献血車3台により9時30分から採血開始、16時30分まで行いました。

湊ホールでは歌とダンス、ミュージカル『湊桜』の皆様等大勢の人がボランティア出演。出演者の父兄の皆さんもたくさんおいで頂き、献血にもご協力いただきました。また、献血いただいた方にもイベントを楽しんでいただきました。

両クラブメンバーも若い人の笑顔と協力に、清々しいさわやかな気持ちの一日となりました。

献血受付者数 219名

採血者数 183名

採血量 73,200ml



白砂青松アダプトプログラム 事業への参加

8R 2Z 米子城山LC

事業委員長 長住 武美

2月23日(土)

22名

場所 鳥取県米子市～境港市

弓ヶ浜 国道431号沿線

弓ヶ浜半島の松林の景観が、雪害・マツクイムシの被害により失われました。

そこで、鳥取県より松林の復活を願い、白砂青松アダプトプログラム「弓ヶ浜・白砂青松そだて隊」の募集があり、スポンサークラブの米子中央LCそして、米子中央LCの姉妹提携クラブである富山神通LCとの3クラブ合同ACTとして活動しております。

活動の一環として、本年2月23日には松苗300本を植栽しました。20年後に期待したいと思います。



御津ライオンズ杯「バレーボール大会(卒業生を送る会)」及び「ソフトボール大会(5年生以下)」の開催

1R 1Z 御津LC

広報委員長 海野 孝章

3月2日(土)

場所 御津小学校体育館

御津小学校グラウンド

平成24年度御津ライオンズ主催の標記大会が平成25年3月2日午前9時から御津小学校体育館及び同グラウンドで行われました。

同日午前8時30分から体育館で行われた開会式では、田村会長の「一生懸命プレーして思い出を作ってください

い」との激励のあいさつ、来賓の河本勉県議会議員による「日頃の練習成果を存分に発揮してください」とのあいさつ、前年の優勝カップの返還、続いてバレーボール及びソフトボール代表者2人による「正々堂々と闘うことを誓います」との選手宣誓が行われました。

参加したスポーツ少年団は、バレーボールでは6チーム(御津、円城、津賀、御北、吉川、大和)で、試合は2ブロックに分かれての予選リーグの後、それぞれのブロックの上位2チームによるトーナメント戦、ソフトボールでは、3チーム(御津、福渡、岡山女子)によるリーグ戦で、熱戦が展開されました。

選手たちは、見守るたくさんの保護者やコーチの声援に、バレーボールでは、鋭いスパイクを、ソフトボールでは、時々小雨の降る中にもかかわらず、はつらつとした元気いっぱいのプレーをみせてくれました。

成績は、バレーボール大会では、1位:御津、2位:大和、3位:津賀、御北、ソフトボール大会では、1位:岡山女子、2位:御津、3位:福渡でした。

この大会は、スポーツを通じて、(1) ルールを守る (2) チームワークを大事にする、(3) 自分の技術を磨き向上を目指す等の精神をこどもたちに体得してもらい、明日を担う青少年の健全育成に貢献できるよう毎年実施しているものです。



愛の献血運動

5R 2Z 倉敷天領LC

市民教育委員長 浅野 洋輔

3月2日(土)

43名

場所 ゆめタウン倉敷店駐車場

アクティビティ・レポート

Activity Report

倉敷天領LC恒例の“愛の献血運動”が3月2日(土)にゆめタウン倉敷において実施されました。前日来の雨もすっかり上がり、風もなく絶好の日和となりました。

クラブ創立以来30年にわたり毎年実施してきたこの献血活動です。手慣れたこととはいえ毎回この場所に立つと新鮮な感動を覚えるものです。

最近、若い人の献血離れに加えて、採血するための条件が厳しくなり献血者数も伸び悩んでいます。今回も出足が鈍くやきもきしましたが、終了間際の呼び込みが功を奏して、最終的には106名の方が献血していただきました。みなさまありがとうございました。

応援に駆けつけてくださった倉敷中央高校の22名の生徒さん、倉敷手をつなぐ育成会の3名のみなさま、お疲れさまでした。赤十字血液センターのみなさま、お世話になりました。

そして、倉敷天領LCのメンバーのみなさま、我がクラブの歴史にまた一つの実績を積み上げることが出来たことを共に讃え合ひましょう

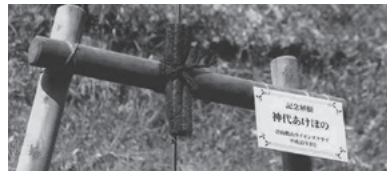
- 今回の実績 400ml
献血受付数/126名
出来なかった人/20名
献血者数/106名
量/42,400ml
骨髄ドナー登録者/15名
- 今までの実績
実施回数 48回
献血者数 8,090人
骨髄ドナー登録者 37人



認証45周年記念さくらの百選。 津山鶴山公園に桜の植樹

3R 1Z 津山鶴山LC
広報委員長 吉田 勉
3月4日(月)
10名
場所 津山市鶴山公園

釜山釜一ライオンズクラブとの共同ACT(姉妹締結28周年記念)として公園入口付近の堤へ桜(ジンダイアケボノ)5本を植樹し寄贈した。



津山鶴山ライオンズクラブ 平成支部結成・入会式

3R 1Z 津山鶴山LC
広報委員長 吉田 勉
3月6日(水)
35名
場所 津山鶴山ホテル

平成25年3月6日(水)津山鶴山ホテルに於いて当クラブの津山鶴山平成支部結成・入会式を執り行った。

渡部地区ガバナー始め、GLT・GMT委員長等地区役員6名の来賓の方にもご臨席頂き、30代から40代の新会員5人が決意を新たにしました。

渡部地区ガバナーから「若い力を存分に発揮し、津山の為、郷土の為に頑張ってください」と歓迎の言葉を述べられ、一人ひとりにライオンピンを贈呈、大きな拍手が送られた。



第7回笠岡ライオンズクラブ杯 近接中学校野球大会

6R 1Z 笠岡LC
高木 浩朗
3月9日(土)、10日(日)
選手 約320名
ライオンズ関係者 18名
場所 笠岡運動公園野球場など

今大会は、3年生がいなくなった新チームで、秋の笠岡東ライオンズクラブ杯に続いて3年生になっての県大会につながるシーズンを占う意味で、相手チームの戦力を知り、自チームの課題を知る有意義な大会です。

9日(土)は春爛漫、10日(日)は突然の雨と突風で、一時試合を中断することもありましたが、2日間で無事試合を消化でき、参加した中学1、2年生にとって、貴重な体験となったと思います。

決勝戦は、秋の大会で優勝した新吉中学校と、第1回・第5回・第6回に優勝している里庄中学校との対戦になりました。里庄中が序盤2回に2点、5回に1点を追加し、ミスが出た新吉中を1点に抑え3連覇し、本大会通算4回目の優勝を飾って終わりました。

大会は、部員不足で美星中学校・芳井中学校の合同チームでの出場もありましたが、各学校の顧問の先生方の積極的な運営参加で、大きなトラブルもなく進行できました。

ライオンズメンバーも、延べ40名に近い参加を得て、多感な中学生部員の一人ひとりにとって、人生の一齣として重要な体験となった大会をしっかりと支えていただきました。今年から、参加賞をボールペンにしたり、レプリカをクラブで出すようにしたりして、少しずつ改革をしながらのアクトでした。



アクティビティ・レポート

Activity Report

真魚市にバザー出店

1R 4Z 備前LC

会長 馬場 敏彰

3月10日(日)

18名

場所 真魚市(伊里漁業協同組合
穂浪2837-5)

備前ライオンズクラブでは3月10日に地元漁協の朝市「真魚市(まないち)」でバザーを実施しました。同朝市は伊里漁業協同組合(備前市穂浪2837-5)が毎週日曜日午前中に開催しているものです。

当日会員ら18名が参加し、メンバーから提供されたタオルや洗剤などバザー品を市内外から訪れた来場者に販売し、78,890円の収益金をあげました。

集まった収益金は人道奉仕事業援助に活用する予定です。同場所での実施は前年度に引き続いて2回目。備前ライオンズクラブの地域社会での奉仕活動の一つとして今後も継続して実施していきたいと考えております。



第26回瀬戸内倉敷ツーデー マーチ 甘酒接待

5R 1Z 倉敷真備LC

PR委員長 佐野 俊夫

3月10日(日)

528名

(ツーデーマーチ参加者 510名・
倉敷真備ライオンズクラブメンバー
18名)

場所 倉敷市真備支所

地域奉仕の一環として今年で6回目となります。倉敷市主催の第26回瀬戸

内倉敷ツーデーマーチにて吉備路・真備40キロコースのゴール場所である倉敷市真備支所で甘酒の接待を行いました。当日は大荒れの天気でしたが、朝からメンバーで甘酒を作り、ゴールした参加者にふるまいました。当日は510名ほどの参加があり、皆さん、温かい甘酒で冷えた体を温め、心身ともに疲れを癒してもらえたようです。



第34回倉敷西LC杯少年剣道大会

4R 2Z 倉敷西LC

幹事 佐藤 美恵子

3月17日(日)~18日(月)

延べ61名

場所 倉敷市玉島市民交流センター
武道館

チャーター以来の継続事業ではありますが、新築された玉島市民交流センター武道館にては初めての剣道大会となりました。

これまでは、チャリティ事業として、うどんの販売や、バザーを同時に開催していましたが、水や火の使用は出来ないということで、今回は剣道大会のみの開催とあって、メンバーは落ち着いて子供たちの頑張る姿を見る事が出来ました。

この大会は、わがクラブの青少年健全育成事業の中心的な事業として先輩たちから引き継いできました。近隣の剣道少年団が10チーム参加、小・中学生が学年ごとに個人戦・団体戦と2日間に渡って熱戦をくりひろげます。団体の決勝戦ともなると、子供たちばかりでなく、保護者の方々の応援も熱を帯び、館内は大盛り上がりです。

小学校の低学年の試合は、ほんとに

可愛く、でもみな一生懸命でおもわず拍手にも力が入ります。中学校の団体決勝戦は見入ってしまうほどの熱戦で、剣士の頭からは湯気が出ていました。

面を被ると男女の区別もつかず、皆堂々として、日本古来の武道の良さを実感したと思います。

昨年の全国中学校剣道大会において、女子の部で優勝全国一位の選手がこの中に居ると言うことで急遽、会長が特別賞を用意し表彰しました。乙島剣道少年団の木澤 美有さんです。

クラブとしても、誇らしいことと思います。



第55回倉敷市聴覚障害者協会定期 総会・親善交流会ボウリング大会

5R 2Z 倉敷阿知LC

担当委員長 吉永 壽美代

3月17日(日)

50名

場所 くらしき健康福祉プラザ・
アミパラボウル

「第55回倉敷市聴覚障害者協会定期総会」に会長L.山地、幹事L.荻谷、担当委員長L.吉永が出席しました。

午後からの「親善交流ボウリング大会」に景品代として100,000円の助成金を贈呈し、約50名(内メンバー5名)の参加、一投球ごと和やかな笑顔あり、身振り、手振りでも交流を深めることができました。



アクティビティ・レポート

Activity Report

倉敷マスカットスタジアムでの合同「ライオンズクラブ杯争奪第21回ヤングリーグ春季大会」の特別協賛(4R-1Z・2Z合同アクト)

4R 2Z 玉島LC

幹事 西田 正孝

3月24日(日)～

3月26日(日) 8時30分 開会式

場所 倉敷マスカットスタジアム、他 8 球場(マスカットサブ、倉敷市営、玉島の森、福田、中山、真備、瀬戸、岡山県営各球場)

主催 全日本少年硬式野球連盟

小中学生硬式野球の甲子園ともいわれる、第21回ヤングリーグ春季全国大会が、倉敷マスカットスタジアムを始め倉敷地区野球場を中心に、平成25年3月24日(日)から26日(火)までの3日間にわたり開催されました。

この大会は、神戸震災以後は倉敷市で開催されており、今回で21回目となりますが、この度4R-RC三宅寛治、4R-1Z ZC那須丈平、4R-2Z ZC小野 厚の骨折りによって各クラブの賛同を得るとともに、倉敷水

島ライオンズクラブ藤本会長の仲介により、初めてライオンズクラブが冠スポンサーとなり、「ライオンズクラブ杯争奪大会」となりました。

当日開会式には、全国から小学の部19チーム(400人)、中学の部32チーム(1,000人)が入場行進、22日から始まっている選抜高校野球に、勝るとも劣らない子供たちの大きな掛け声を出しての入場行進は、大変素晴らしく近くで見ていて感動ものでした。

ライオンズ関係者は、ZC小野厚さんが来賓挨拶として、歓迎の言葉とライオンズクラブの青少年健全育成の考え等PR、立派な成人になり将来ライオンズクラブのメンバーとなる事を期待しますと締めくくりました。また、ZC那須丈平さんが始球式のバッターで登場、ピッチャーを務めた広島東洋カープ200勝投手の外木場さんの速球を見事(?)レフト前にヒット、観客席から驚きの声と拍手がおこりました。(打てるなら打っていいと言われていたそうです、さすがスポーツマンの那須さんです)

この大会参加は、選手1400人、指導者300人、審判100人、父兄応援者1200人合計3000人を超えようかとい

う全国大会です。ライオンズクラブとしては①青少年育成をライオンズアクトとして全国へ発信②地域、地元関係者、保護者との連携を通じて会員獲得のサポート③地元の活性化と経済効果④4R・合同アクトとしてのライオンズクラブ間の連帯感が養われたと思います。

この大会は大勢の小中学生と父兄が関係した素晴らしい大会であり、倉敷で開催される数少ない全国大会であります。今回は初めてのことであり、資金協賛が中心となりましたが、大会が倉敷市中心に8会場あり、ライオンズクラブが知恵を出せばいろんな奉仕と手伝い出来るのではないかと思います。

素晴らしい大会です、倉敷地区各ライオンズクラブが協力し、5Rを含めリジョンを越えた4R・5R合同のアクトに発展できれば良いと願っています。



久世地区献血推進活動

3R 2Z 真庭旭LC

会長 馬場 寿彦

3月25日(月)

出席会員 4名

場所 久世保健福祉センター

クラブ結成以来38年間継続して行っている重要事業の一つです。

今年度は6回予定しているなか、5回目の実施となりました。

まだ寒さの残るこの日は、9時45分より久世保健福祉会館に於いて、市職員や近隣事業所・知人等に400ml献血

を呼びかけ、限られた時間ではあったが多くの方に協力を頂くことができました。(受付者全員に粗品を寄贈)

受付者57名

(400ml×採血50名=20,000ml)

経費 4,900円

稼働時間

出席会員4名×2.5時間=10時間



作楽神社清掃奉仕

3R 1Z 津山さくらLC

事業委員長 林田 民雄

3月31日(日)

クラブ員

場所 作楽神社

後期アクティビティは、新免会長スローガン「地域社会への限りない奉仕」に基づき、作楽神社の清掃を行いました。

当日はクラブ員13名が参加し、草刈機で雑草を刈ったり、落ち葉を収集するなど、2時間にわたってさわやかな汗を流しました。

アクティビティ・レポート

Activity Report

我がクラブの名称『さくら』にちなみ、約20年前より作楽神社の美化・環境保全・環境整備に取り組んでおり、春の観光シーズン「院庄たかのり祭り」を前に、清掃奉仕活動を行い、参拝者や神社関係者に喜ばれています。

尚、津山朝日新聞にも大きく報道され、ライオンズクラブのPRにも繋がりました。



第28回 くらよし打吹流しびなの開催

7R 2Z 倉吉打吹LC

社会福祉委員長 岩間 康典

4月7日(日)

クラブ員35名+子供たち+保護者+地域住民+観光客+カメラマン
計1500名

場所 倉吉市内を流れる玉川、土蔵銀周辺

平成25年4月7日(日)第28回くらよし打吹流しびなを開催いたしました。あいにくの寒い雨模様でしたが、鳥取県平井知事も参加をしていただき、地域の幼稚園・保育園の子供たち、保護者、地域住民、観光客、カメラマンで賑わいました。倉吉市の春の風物詩としてしっかり定着して来たということにうれしく思いました。

平井知事は忙しいスケジュールの中、次の公務に行かねばならない中、時間オーバーで参加していただき、秘書の方もやきもきされていたことと思います。しかしながら、知事の参加

で、会場一同みな盛り上がりました。

会場では、クラブメンバーによる餅つき、焼きそば販売、手作りの絵馬販売が行われました。

メンバーによる絵馬の制作から、川の清掃、花筏の川に入っての飾りなど、すべて手作りで行われたアクティビティに多くの感動の声寄せられました。



津山洋学資料館へデジタルサイネージキットを寄贈

3R 1Z 津山LC

会長 国政 省

4月12日(金)

8名

場所 津山洋学資料館
(津山市西新町)

我がクラブの後期アクティビティとして、津山洋学資料館へデジタルサイネージキット並びに傘立を寄贈致しました。

贈呈式は平成25年4月12日、市内の津山洋学資料館にて会員8名の参加のもと執り行いました。

デジタルサイネージキットはパソコンで作成した動画・静止画・テロップなどの番組を、LAN経由もしくはUSBメモリを利用して画面表示できるキャスター付き電子掲示板です。

時間設定も可能でその時間帯に応じた案内を表示出来るため、館長さんからも『画面が美しく当館の魅力アップにつながります。玄関や屋内で、企画展示の案内などにしっかり活用していきたいです。』と感謝の言葉を頂きました。

した。

また合わせて来場者の増加に対応するため、48本立傘立も寄贈致しました。



南野育成園誕生日会に参加

2R 1Z 岡山シニアLC

副幹事 樋口 俊司

4月15日(月)

18名

場所 南野育成園

当LCでは、児童養護施設・社会福祉法人南野育成園と児童自立支援施設・岡山県立成徳学校及び岡山市立後楽館中学高等学校に対して様々なアクティビティを実施しております。

特に南野育成園については毎月の誕生日を祝う会のほか、時期折々の季節の行事が開催されており、当クラブのライオンも食事をともにしながら交流を行い、家庭で育つことができない子どもたちに激励のメッセージを送るとともに、その成長を見守っております。

4月15日には幼稚園5人、小学校3人、中学校6人、高等学校4人の合計18人が入園、入学しお祝いの会が催されました。当日は10人のライオンが参加し、子どもたちひとりひとりの新しい学校生活に対する決意表明に耳を傾けエールを送りました。



アクティビティ・レポート

Activity Report

天の岩戸さくらまつりで乗馬体験

3R 2Z 蒜山LC

会長 東郷 務

4月20日(土)

約20名

場所 茅部神社 参道

開運を願う春のお祭り「天の岩戸さくらまつり」にて、小学生以下を対象に乗馬体験を行いました。あいにくみぞれが降る悪天候で、桜も咲き始めでしたが、地域の子ども達や、おまつりに来た子ども達が乗馬を楽しみました。

中には「初めて乗った」とうれしそうに話す子どももいて、馬に乗る良いきっかけ作りができたと思います。

今後も蒜山ホースパークや祭りの関係者の協力を得ながら継続していきたいと考えています。



第23回倉敷西LC杯少年サッカー大会

4R 2Z 倉敷西LC

幹事 佐藤 美恵子

4月20日(土)～21日(日)

延べ52名

場所 玉島の森多目的広場・
中国電力玉島発電所グラウンド

玉島フットボールクラブが、準備から運営まで受け持ち、メンバーは見守るだけという大会です。

岡山県のみならず近隣の他県からの参加もあり、参加人員は24チームで、総勢600名程、宿泊チームもあるという事でコンベンションビューローの補助金もいただいています。

通常は優勝から3位チームまでの表

彰ですが、LC杯は最後の試合まで目標を持ち全力を出し切る事を目的としているため優勝から3位までと、2位グループから6位グループ(1日目に3チームのリンク…4ブロック…での予選をして同一順位での順位決定戦を行う方式)をとっており、全てのグループの優勝チームに表彰状と盾を授与します。また、各チーム2名計48名に優秀選手賞のメダル、各チーム1名計24名に会長賞のメダルを授与するとあって、かなり高い確率でメダルをゲット出来るようになっている。試合の合間に本部まで、メダルを見にやってくる子供もいて、子供たちが楽しみにしている様子を見るのはわれわれもとてもうれしいものです。

天候にもまずまず恵まれて、子供達のはじける笑顔がとても印象的で閉会式での「また、来年玉島で会いましょう」のアナウンスにメンバーの笑顔を送りました。



いなばの森に案内板・テーブル・ベンチ設置

7R 1Z 鳥取いなばLC

下田 哲也

4月20日(土)

21名

場所 とっとり出合いの森内「いなばの森」

当クラブでは、平成20年3月、結成40周年記念事業の一つとして、地球温暖化防止のために、「とっとり出合いの森」にコナラ・クスギ・ヤマザクラ・モミジ160本を植樹寄贈し、それから5年間にわたりヤマザクラ、レンギョウ、ヤマボウシ、ツツジ等約5000本を植樹し「いなばの森」と命名して管理、補植、枯捕植をしてまいりました。また、森の斜面には、市民の憩いの散策場所となるよう3年かけて

遊歩道を設置いたしました。そして、今年、結成45周年記念事業として、当クラブがこの5年間に「いなばの森」に植樹してきた木々の内容を盛り込んだ、案内板を作り、市民の方々に我々の植樹活動に対するご理解を深めていただこうということになりました。合わせて、テーブル2脚とベンチ10脚を設置したので、遊歩道の散策に疲れたら、ベンチに座って、ゆっくりと景色や森林浴を楽しんでもらうこともできるようになりました。



第33回岡山西LC旗少年ソフトボール大会

2R 1Z 岡山西LC

会長 波多 洋治

4月21日(日)

場所 宗蓮寺グラウンド

前日から降り続いた雨に開催が危ぶまれていたソフトボール大会。少年たちの熱い想いが天に届いたのか日の出と共に雨はあがったものの、グラウンドのコンディションの状況は微妙…。開催の意思決定時刻の朝7時ギリギリに「大丈夫です！何とかやれそうです」との連絡が入り早々に会場に向かったが1時間前だというのもうほとんどのチームがウォーミングアップ中。少年たちの熱気でグラウンドに残っていた雨水もいつの間にか消えていた。

チャーターメンバーのL西原茂の尽力でスタートをした同大会も今年で33年目を迎えるのだが、ふと「第1回の子供たちはいくつになったのだろうか？そうかあ、もうオジサンになっているのだ」と思うと実に感慨深い。

プレーをする子供たち、そしてそれを応援する親や友人……。まさに

アクティビティ・レポート

Activity Report

「一丸になる」という表現がぴったりである。皆が目指すのはもちろん「優勝」という二文字ではあるが、真摯にプレーをする姿からは「今を精一杯頑張る」という熱い思いが感じられる充実した時間であった。



「鳥取子ども学園」お菓子作り

7R 1Z 鳥取LC

会長 杉浦 為佐夫

4月21日(日)

47名

場所 中電ふれあいホール

4月21日(日)に11回目となる、鳥取子ども学園とのお菓子作りを会場の中電ふれあいホールで実施しました。

総勢47名(子ども達27名、先生9名、ライオンズクラブは会長他4名、会場スタッフ6名)が5つのクッキングテーブルに分かれて、白玉だんごを作る人、和風スバゲティの野菜をカットする人、おにぎりを握る人、それぞれが役割を決めて手際よく、楽しそうに料理作りを進めてくれました。

このお菓子作りは、子ども学園の子ども達と一緒に苺の苗を植えて収穫をする。その苺を使用してケーキ作りをしていたのが始まりです。

近年苺作りを止めましたが、ケーキ作りは継続してきました。時間帯が昼前になるため、お菓子よりご飯がある昼食を兼ねた料理教室に変わってきたのが現状のようです。

内容は違ってきましたが、子ども達と一緒に楽しく触れ合うことには変わらないと思います。

来年以降は、中電ふれあいホールの利用が出来なくなるため、とても残念

に思います。また別の形のアクティビティを是非一緒に進めることが出来ればと思いました。



第3回西伯郡中学校野球大会

8R 1Z 西伯南LC

青砥 徳直

4月28日(日)～5月3日(金)

200名

場所 大山球場(大山町今在家)

青少年の健全育成の一環として大山LCと西伯南LCの合同アクトです。

西伯郡内の7校による試合が3日間に渡り開催されました。

記念に各チームにボール1ダースとロージンバッグを贈呈しました。

どのチームも実力は伯仲し、決勝戦の南部中学校と岸本中学校の対決は3対3の同点で試合終了。大会規程にもとづき抽選により勝者を決めるということとなり、その結果岸本中学校が優勝となりました。



チャリティバザー実施

7R 1Z 鳥取中央LC

事業委員長 山田富士雄

4月29日(月・昭和の日)

12名

場所 鳥取市本通り街道

鳥取市主催の「花と木のまつり」では11時からメインストリートの若桜街道を歩行者に開放して、たくさんのイベントが行われます。今年第36回をむかえ、その中に鳥取中央ライオンズクラブも中心市街地活性の一環として第30回から毎年参加しており、当日は10時にタオルや陶器、家庭用品など、会員が持ち寄った商品の陳列準備に取り掛かり、晴天に恵まれて家族連れが賑わうなか、午後3時にバザーを無事終えました。



手をつなぐ育成会との野外レクリエーション

7R 1Z 鳥取砂丘LC

島田政徳

5月11日(土)

70名(うちライオンズ32名)

場所 白兔グラウンド・ゴルフ場

5月11日(土)鳥取市手をつなぐ育成会との野外レクリエーションを実施しました。育成会の方々にも多数ご参加いただき、白兔グラウンド・ゴルフ場に行きました。朝のあいだ少し雨も残りましたが、皆さんの熱気で次第に雨も上がり、予定をしていましたグラウンドゴルフとビンゴゲームをして楽しく過ごしました。



地区広報委員長としての思いと 地区誌編集後記



広報委員長 藤澤 勝彦
(倉敷西)

年次大会記念誌にも紹介しましたように今年度ガバナー方針であります

- 1 地区誌「THA LIONTIMES」を年4回発行する。
- 2 内容は前年度を踏襲する
- 3 96全クラブ訪問するので新会員の顔写真を掲載する。
- 4 地区ホームページをリアルタイムに更新する。

上記に基づいて実行しました。委員会も336-B地区全体のバランスを考え1回目岡山県南、2回目を岡山県北、3回目を鳥取県、4回目岡山県南で開き広報委員及び担当副幹事全員出席で編集、校正を行いました。新会員の顔写真、ACT、周年事業、委員会報告、研修会報告、各種大会参加報告等々なかなか原稿が集りにくく苦労もしましたが、各クラブの広報関係者のご協力により、何とか方針どおり4回発行することが出来ました。寄稿下さった各クラブ関係者各位に感謝申し上げます。

尚ホームページについては従来からの業者に依頼しているためリアルタイムに更新することが出来ず「ガバナーブログ」を作り対応いたしました。

編集に当たって思ったことは各クラブとも高齢化が進みITへの取り組み遅れがあり、デジカメで写真を撮って加工し原稿とともにMailに添付して送信すれば簡単と思いますが……、これがなかなか……。

次年度から新しい「会員報告システム MyLCI」が導入されると聞きました。

336複合の広報委員長会議及び8複合の広報IT委員長会議もWeb会議が始まりました。

クラブにより温度差はありますが、あと一歩充実してほしいと感じました。地区誌はインターネット上(URL: <http://www.lc336b.org/>)に掲載していますので近い将来発行不要になるのでは……? とも思います、必要な時に必要な部数をプリントすれば大変なコストダウンにもなります。

なお編集には充分注意いたしました。誤字、脱字などたくさんあったのではと思います、広報委員全員で作りましたのでライオンズクラブの寛容の精神でお許しいただきたく思います。最後に336-B地区各クラブの益々の発展を祈念いたしまして編集後記といたします。 2013/5/7記

2012～2013年度 336-地区広報委員会

| | |
|----------|---------------|
| 1R-広報委員 | 合田正人(御津LC) |
| 2R-広報委員 | 大田哲朗(岡山あげはLC) |
| 3R-広報委員 | 福島正明(落合LC) |
| 4R-広報委員長 | 藤澤勝彦(倉敷西LC) |
| 5R-広報委員 | 原 清次郎(早島LC) |
| 6R-広報委員 | 平井輝太(笠岡LC) |
| 7R-広報委員 | 松田善夫(鳥取LC) |
| 8R-広報委員 | 石田義信(米子錦LC) |
| 4R-担当副幹事 | 中藤 収(玉島LC) |



新会員の紹介 <12・1・2・3・4月>

① 所属クラブ名
② 新会員氏名
③ スポンサー名
④ 入会月

1 リジョン

1ゾーン

- ① 岡山
② 長崎能久
③ 荒田正憲
④ 4月
- ① 岡山
② 大塚利昭
③ 谷一尚
④ 4月
- ① 岡山
② 釜口竜雄
③ 荒田正憲
④ 4月
- ① 岡山
② 小松義一
③ 荒田正憲
④ 4月
- ① 岡山
② 佐々木孝之
③ 荒田正憲
④ 4月
- ① 岡山
② 淡江基史
③ 荒田正憲
④ 4月
- ① 岡山
② 野中義成
③ 荒田正憲
④ 4月
- ① 岡山
② 原田和典
③ 荒田正憲
④ 4月
- ① 岡山
② 三木康敬
③ 荒田正憲
④ 4月
- ① 岡山
② 村上英之
③ 黒瀬義博
④ 4月
- ① 岡山
② 山崎稚子
③ 荒田正憲
④ 4月

- ① 岡山後楽
② 佐藤順一
③ 山下耀広
④ 2月
- ① 岡山後楽
② 佐野信子
③ 佐野芳康
④ 2月
- ① 岡山後楽
② 高原明子
③ 高原俊彦
④ 2月
- ① 岡山後楽
② 北川文夫
③ 清水直樹
④ 4月
- ① 西大寺
② 川上聖二
③ 硯俊彦
④ 2月
- ① 西大寺
② 石原三代志
③ 阿部勝之
④ 3月
- ① 岡山フェニックス
② 難波美保
③ 井上哲人
④ 2月
- ① 邑久
② 内田理一郎
③ 赤枝賢太郎
④ 3月
- ① 岡山グリーン
② 山室正子
③ 中尾森雄
④ 3月
- ① 岡山ブルー
② 南倫子
③ 黒住輝久
④ 2月
- ① 岡山ブルー
② 宮木毅
③ 黒住輝久
④ 2月
- ① 和気
② 中柄千明
③ 白田宗一
④ 3月

2 リジョン

1ゾーン

- ① 岡山あげは
② 吉武進吉
③ 難波進
④ 4月
- ① 岡山シニア
② 教山群
③ 石川浩朗
④ 4月
- ① 岡山北
② 柏本健二
③ 小林義孝
④ 3月
- ① 岡山北
② 天野邦弘
③ 上田井保夫
④ 3月

2ゾーン

- ① 岡山北
② 天野邦弘
③ 上田井保夫
④ 3月

3ゾーン

- ① 岡山京山
② 岩本泰子
③ 岩本秋男
④ 4月
- ① 岡山京山
② 竹谷充生
③ 金剛毅
④ 4月
- ① 岡山京山
② 武田重美
③ 武田行弘
④ 4月
- ① 岡山京山
② 辻健志
③ 小倉次郎
④ 4月
- ① 岡山京山
② 藤井章子
③ 藤井庄一
④ 4月
- ① 岡山中央
② 林竜也
③ 山口和彦
④ 2月

3 リジョン

1ゾーン

- ① 津山
② 尾崎栄作
③ 国政省
④ 2月
- ① 津山鶴山
② 大島直樹
③ 森岡秀行
④ 12月
- ① 津山鶴山
② 近藤竜二
③ 森岡秀行
④ 12月
- ① 津山鶴山
② 坂雅弘
③ 森岡秀行
④ 12月
- ① 津山鶴山
② 寺坂俊彦
③ 森岡秀行
④ 12月
- ① 津山鶴山
② 中里信之
③ 杉本憲治
④ 12月
- ① 津山鶴山
② 安東賢二
③ 森岡秀行
④ 4月
- ① 津山衆楽
② 小川創
③ 小川靖英
④ 1月
- ① 津山衆楽
② 竹内道隆
③ 竹内恒幸
④ 1月
- ① 津山衆楽
② 忠政康宏
③ 忠政恒雄
④ 1月
- ① 津山衆楽
② 林宏和
③ 林八郎
④ 1月
- ① 津山衆楽
② 平井彰一
③ 平井富美夫
④ 1月

- ① 津山衆楽
② 村上雅人
③ 福井 稔
④ 1月
- ① 津山衆楽
② 垂井康宏
③ 垂井章泰
④ 1月

2ゾーン

- ① 真庭
② 古谷澤子
③ 山本章憲
④ 4月
- ① 真庭
② 母里靖浩
③ 山下豊
④ 4月
- ① 蒜山
② 樋口敏文
③ 石賀久
④ 4月
- ① 蒜山
② 山田義和
③ 真田善弘
④ 4月
- ① 蒜山
② 湯楨将文
③ 東郷務
④ 4月
- ① 蒜山
② 藤本浩之
③ 東郷務
④ 4月

4 リジョン

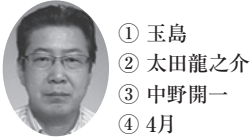
1ゾーン

- ① 児島
② 佐々木聖広
③ 村上正秋
④ 4月
- ① 児島鷺羽
② 片山貴光
③ 藤沢康雅
④ 3月
- ① 倉敷ローズ
② 白神三智子
③ 古谷千代子
④ 5月



- ① 倉敷ローズ
- ② 内海寿子
- ③ 難波玉恵
- ④ 5月

2ゾーン



- ① 玉島
- ② 太田龍之介
- ③ 中野開一
- ④ 4月



- ① 倉敷南
- ② 網島英樹
- ③ 大野修一
- ④ 2月



- ① 水島中央
- ② 小郷昌志
- ③ 仁科喜佐男
- ④ 2月

5 リジョン

1ゾーン



- ① 倉敷
- ② 大原秀之
- ③ 岡 莊一郎
- ④ 3月



- ① 倉敷
- ② 坂本 啓
- ③ 藤原京子
- ④ 4月

2ゾーン



- ① 倉敷平成
- ② 片山良雄
- ③ 戸川勝年
- ④ 3月



- ① 倉敷平成
- ② 柴倉 悟
- ③ 戸川勝年
- ④ 5月



- ① 倉敷ほほえみ
- ② 太田敦子
- ③ 佐藤真澄
- ④ 3月

6 リジョン

2ゾーン



- ① 新見
- ② 田原秀郷
- ③ 池田洋助
- ④ 3月



- ① 新見
- ② 中西崇陽
- ③ 池田洋助
- ④ 3月



- ① 新見
- ② 小河俊文
- ③ 山本耕祐
- ④ 5月



- ① 総社
- ② 三宅啓介
- ③ 吉田浩士
- ④ 3月



- ① 総社
- ② 森下城嘉
- ③ 風早秀義
- ④ 3月



- ① 総社
- ② 岡 眞司
- ③ 柏原 繁
- ④ 4月



- ① 総社
- ② 大高謙司
- ③ 中山正昭
- ④ 4月



- ① 総社
- ② 丸川博之
- ③ 風早秀義
- ④ 5月



- ① 総社
- ② 神崎敏隆
- ③ 風早秀義
- ④ 5月



- ① 総社
- ② 藤田 誠豊
- ③ 田辺 豊
- ④ 5月



- ① 総社
- ② 新井信弘
- ③ 福島 登
- ④ 5月

7 リジョン

1ゾーン



- ① 鳥取
- ② 永島正敏
- ③ 黒坂幸夫
- ④ 2月



- ① 鳥取いなば
- ② 花房 稔
- ③ 下田哲也
- ④ 4月



- ① 鳥取いなば
- ② 細川享範
- ③ 徳田善嗣
- ④ 4月



- ① 鳥取いなば
- ② 三田正之
- ③ 下田哲也
- ④ 4月



- ① 鳥取久松
- ② 松下稔彦
- ③ 上杉榮一
- ④ 5月

2ゾーン



- ① 倉吉
- ② 長井正治
- ③ 羽合昭夫
- ④ 2月



- ① 倉吉北
- ② 角田健作
- ③ 山本啓貴
- ④ 3月



- ① 倉吉
- ② 長谷川照泰
- ③ 森 敏昭
- ④ 4月



- ① 倉吉グレート
- ② 畑 昭宏
- ③ 藤原宏行
- ④ 2月

8 リジョン

1ゾーン



- ① 西伯南
- ② 藤友裕美
- ③ 青砥徳直
- ④ 4月



- ① 米子錦
- ② 山本洋子
- ③ 小川真澄
- ④ 5月

2ゾーン



- ① 境港
- ② 足立和則
- ③ 柗 康弘
- ④ 3月



- ① 境港美保
- ② 浦川英敏
- ③ 森岡俊夫
- ④ 3月



- ① 境港美保
- ② 多林幸二
- ③ 吉川 誠
- ④ 5月



- ① 米子城山
- ② 伊東昭巳
- ③ 高塚 功
- ④ 4月

【2012.7～2013.5 336-B 地区 会員異動状況】(2013年5月末現在)

| リジョン | 期首 | 入会 | 退会 | 5月末 | 女性 | うち支部会員 |
|------|-------|----|----|-------|-----|--------|
| 1 | 578 | 9 | 3 | 583 | 80 | 11 |
| 2 | 408 | 0 | 3 | 422 | 45 | 0 |
| 3 | 333 | 0 | 1 | 357 | 34 | 19 |
| 4 | 450 | 3 | 4 | 432 | 35 | 0 |
| 5 | 234 | 20 | 3 | 258 | 30 | 27 |
| 6 | 390 | 5 | 1 | 403 | 18 | 0 |
| 7 | 379 | 14 | 1 | 397 | 52 | 13 |
| 8 | 275 | 2 | 1 | 275 | 20 | 0 |
| 計 | 3,047 | 53 | 17 | 3,127 | 314 | 70 |



源平合戦水島古戦場記念碑

表紙のことば

今から800年余り前の寿永2年閏10月1日、円通寺から見晴らせる源平大橋の兩岸、右の柏島側に平家、左の乙島側に源氏が陣取り、壮絶な戦いが繰り広げられた。世に言う「源平水島合戦」である。

「天俄かに曇りて日の光も見えず、源氏の軍兵ども日食とは知らず東西を失い逃れ行く」と源平盛衰記に記されているように、日食を予知していた平家が勝利。

平家最後の勝ち戦さとなった「源平水島合戦」の記念碑には日食を表した黒い丸が刻まれている。

ライオンズクラブ国際協会336-B地区

Lions Clubs International District 336-B

2012-2013
Vol. 04



THE LION TIMES

キャビネット事務局

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所6F

TEL. 086-232-7722 FAX. 086-232-1155

E-mail info@lc336b.org URL <http://www.lc336b.org>

発行日/2013年(平成25年)6月20日

発行/ライオンズクラブ国際協会336-B地区

発行者/地区ガバナー 渡部雅文

編集/広報委員会

委員長: 藤澤勝彦

委員: 合田正人 太田哲朗 福島正明 原清次郎

平井輝太 松田善夫 石田義信

印刷/株玉島活版所

〒710-0261 倉敷市船穂町船穂2095-11